



さぬき市でイキイキと働いたり、暮らしている人たちを紹介します。

今回は大串半島の地域活性化施設「時の納屋」所長 満濃孝さんです。

■お仕事は？

去年大串にオープンしたカフェ「時の納屋」にたくさんの人に来てもらえるよう、調理、商品開発、イベント企画など、運営全般を担っています。



■「時の納屋」の所長になる前はどんな仕事をしていたのですか？

市役所の職員として長年勤めてきました。道路や川の工事、ポンプ場の設計、災害復旧などいろんな仕事をしました。

■そこから、カフェ運営のお仕事に！

大きなキャリアアチエンジ（職種変更）ですね！元々料理やお菓子作りは好きだったんです。作ったものをプレゼントするとすごく喜んでくれて、それからハマってしまいました。友人に頼まれて料理教室を開いたり、ホールケーキを作ってプレゼントしたりもしていました。

■オープンまでには大変なご苦労があったのでは？

実は、計画当初は軽食を提供するだけの予定だったんです。しかし、それだけではだめだ、と思いました。大串は決して利便性のいい場所ではありません。初めは景色を見に人が集まるかもしれないが、それだけでは二回目、三回目は来てもいいかもしれません。ここでしか味わえないものを提供する必要があります、と思いました。



例えば牛すじカレーには、地元の食材やさぬきワイナリーのワインを使って試行錯誤の末、完成しました。飲み物にもこだわっています。



他にも、衛生管理士の資格を取りに行ったり、一日百食以上の料理の仕込みが深夜にまで及んだり、全て一からのスタートだったので、大変でした。

■ご自身をどんな性格だと思えますか？

何でも夢中になって、それしか見えなくなるタイプです。趣味で作ったケーキをみんなが「おいしい」と食べてくれたら、「もっと喜んでもらいたい！次はこんなことにチャレンジしよう」とアイデアが浮かんで、改良を重ねていたんです。そうこうしているうちに、気づいたらカフェの所長になっていました（笑）

■お菓子作りはいつ始めたんですか？

実は、大人になってからなんです。元々は運動が好きで、子どもの頃は野球、大人になってからはトライアスロンをしていました。でも、仕事で忙しくなり、なかなか外で練習する時間が取れない中で、家にいてもできることはないか、と考えていたとき、たまたまお菓子を作ったプレゼントしたら喜んでもらったのが始まりです。

■ほめられて伸びるタイプ？

どんなことでもほめ言葉は素直に受け取ります。たとえば「絵がうまいね」と人から言われると嬉しくなって、「さらにうまくなりたーい！」と（笑）。

中学の時は野球部でしたが、秋になると美術部員として絵を描いて文化祭に出展していました。体を動かすのも細かい作業をするのも好きなんです。

■細かい作業が好きだからお菓子作りにもハマったんですね！スポーツの経験が役立っていることはありますか？

ありますよ。スポーツをしていると仲間ができるんです。

実は一人でホノルルマラソンに出たこともあるんですよ。そこで知り合った人が他県からわざわざ「時の納屋」までケーキを買いに来てくれたこともありました。スポーツを通して人脈が広がっていました。



■人とのつながりを大切にされているんですね

はい。人と出会うのが大好きです。さぬき市のよいところもまさに人とのつながれることだと思っています。田舎の良さなのかもしれないが、みんな声をかけてくれます。何かあったとき、互いに相談し合えますしね。「時の納屋」のスタッフもお客様への声かけ、お見送りなど、食事の提供だけでなく、人とのつながりを意識した接客を心がけています。

■「夢中」「人とのつながり」が満濃さんのキーワードですね！

そうですね。私自身、好きなこと、夢中になれることを一生懸命やっていたら、いつの間にか歯車がかみ合って夢が叶う、という経験を

「時の納屋」とは：地元の食材を使ったメニューを提供するカフェスペースを備えた施設です

しました。不安に思ったり、落ち込んだり、ときには挫折することもあったけれど、「将来はこうなる！」という良いイメージを思い浮かべながらやってきました。ホノルルマラソンもそうでした。英語がしゃべれなくて不安でいっぱいだったんですが、行ってみたらたくさんの人と仲良くなって、最後は帰りたいくらい！と思っていました（笑）。

■最後にさぬき市の子供たちにメッセージをお願いします。

周囲からの決めつけや自分の中の思い込みにとらわれず、自分の心に正直に好きなことを一生懸命やっていってもらえたら、と思います。何でもいいんです。全然関係ないようなことでも積み重ねたものが全部が繋がっていくので、いろいろやってみるといいと思います。どうか自分を信じて、あきらめずにチャレンジしてほしいです。

これから無限に広がる可能性にワクワクしているという満濃さん。
大串に遊びに行ったときにはぜひ声をかけてみてくださいね。

